

昭和54年度帰国研修員巡回指導

結核対策巡回指導班 報告書

国際協力事業団
研修事業部

118
98.6
TAF

研一
J R
80 — 2

は　じ　め　に

この報告書は、我が国が実施してきた結核対策関係集団コースに参加した帰国研修員に対するアフターケア業務の一環として、昭和54年9月6日から9月21日までの16日間、フィリピン、タイ、及びインドネシアの3ヶ国に派遣した結核対策巡回指導班の業務報告である。

本書が、帰国研修員の活動状況、彼らが抱えている諸問題、要望等について関係各位の一層深いご理解をいただくための一助となり、今後の研修コース、また研修員受入事業の改善に資することができれば幸いである。

なお、本件の実施のためにご協力を賜った外務省、厚生省、財結核予防会結核研究所及び現地において数々のご指導とご協力を賜った在外公館並びに関係機関の皆様に深甚の謝意を表したい。

昭和55年2月

研 修 事 業 部

部 長　山　村　　寛

JICA LIBRARY



1046190[3]

国際協力事業団	
受入 月日 558435320	118
登録No. 06212	198.6 TAF

目 次

I 巡回指導の概要	1
1. 派遣の目的	1
2. 期間、訪問国	1
3. 巡回指導班メンバー	1
4. 日 程(表)	1
5. 業 務 内 容	3
II 訪問国別、調査内容	4
1. フ ィ リ ピ ン	4
2. タ イ	4
3. イ ン ド ネ シ ア	5
4. そ の 他	7
5. 結 び	10
III 参 考 資 料	
1. 帰国研修員リスト	12
2. 帰国研修員等に対する調査表	21

I 巡回指導の概要

1. 派遣の目的

国際協力事業団は、財団法人結核予防会の協力を得て、同会結核研究所において、開発途上国の結核対策の中心的人材を育成することを目的として、1963年から、当該国の結核対策に携わる医師（一部検査技師）を対象とする、三つのコースの研修を毎年実施している。

昭和54年度（1979年度）までに、この研修は、通算17回開催され、参加者は総数412名、35ヶ国にのぼっている。

今回の巡回指導は、これらのいわゆる南の国のうち、研修生のもっとも多い、フィリピン、タイ、インドネシアの3ヶ国を対象として、当該国帰国研修生の所属機関、関係諸官庁等も訪問し、帰国研修生が直面する諸問題についての意見交換、結核対策における当該国の現状の把握、わが国の研修に対する要望の調査、帰国研修生の動向調査を目的として派遣されたものである。

2. 期間、訪問国

昭和54年9月6日より昭和54年9月21日までの16日間。

訪問国 フィリピン、タイ、インドネシア

3. 巡回指導班メンバー

工藤 祐 是	財結核予防会結核研究所副所長
金 沢 進一郎	同 上 事務長
鈴 木 護	厚生省大臣官房国際課国際機関係長
大 島 義 也	国際協力事業団研修事業部研修第二課職員

4. 日程（表）

国 名	月 日	業 務 内 容
フィリピン	9月 6日	移 動 東京 → マニラ着
	7日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大使館表敬訪問（広瀬書記官） ○ JICA事務所打ち合せ（三浦所長） ○ WHO西太平洋地域事務所表敬（韓事務局次長と懇談） ○ 保健省結核対策課長（Dr. Ramon Villasis）表敬 （Dr. 遠藤、WHO専門医（regional advisor on chronic disease 慢性疾患課長）宅にて会食）

	8日	◦ 帰国研修員との懇談会
	9日	休 日
	10日	◦ 国立結核研究所訪問 (Dr. Andres Y. Cruz 所長他、幹部と懇談) ◦ フィリピン結核協会訪問 (同会長、副会長表敬)
タ イ	11日	移 動 バンコック着
	12日	◦ 大使館表敬訪問(湯下参事官) ◦ J I C A 事務所打合せ(北野所長) ◦ 総理府技術経済協力局(DTEC)表敬 (Xututi 局長、他幹部と懇談)
	13日	◦ 帰国研修員との懇談会 (DTECより1名 オブザーバーとして出席)
	14日	◦ 保健省結核対策部訪問 (所長Dr. Boonsong 他幹部と懇談) ◦ 国立中央胸部病院訪問 (所長他医師数人と懇談)
	15日	資料整理
インドネシヤ	16日	移 動 ジャカルタ着
	17日	◦ 大使館表敬訪問(熊谷公使) ◦ J I C A 事務所打合せ(篠浦副参事) ◦ WHOインドネシア代表部訪問 (WHO Programme Coordinator, Dr. El-zawahry 表敬)
	18日	◦ パーサハバタン病院訪問 (院長、副院長、他幹部と懇談) ◦ 帰国研修員との懇談会
	19日	移 動 スラバヤ着 ◦ 領事館表敬訪問(石川領事) 移 動 マラン着 (途中、マラン結核センター附属バツ結核療養所訪問)
	20日	◦ マラン結核センター及び付属検査所訪問

		(Dr . S . Liunanda 所長、他部長 2 名と懇談)
		移 動 スラバヤ着
		移 動 デンパサール着
	2 1 日	移 動 デンパサール → 東京着

5. 業 務 内 容

- (1) 帰国研修生が直面する諸問題についての意見交換。
- (2) 帰国研修生がコースに参加して得た知識、経験の適用度評価。
- (3) 結核対策分野における 3 カ国の一般的実情、技術水準の把握、及び今後のコースに対するニーズの把握。
- (4) 対象機関の概要、帰国研修員の動向調査。

Ⅱ 訪 問 国 別 調 査 内 容

(a) 帰国研修員に関する現状把握

1. フィリピン（帰国研修生 35 名うち 2 名死亡）

次の各機関を訪問し意見交換した。

○ WHO 西太平洋地域事務局

帰国研修生は主として結核研究所ケソン病院、結核協会で活躍している。ケソン病院では幹部クラスとなって定着しているが協会傘下の 12 行政区における結核コンサルタントは、現在残っているのは 1/3 くらいだろう。結核対策についての政府の姿勢はやゝ積極性に欠けるようであるが、今度新たに就任した保健相はケソン病院の前院長で結核に関心があるものと期待している。日本の研修コースも結核事情の改善に伴い、内容を変化させる必要があろう。

○ 保健省結核対策課（帰国研修生 2 名出席）

研修生の受入数をもっとふやして欲しい。日本の研修コースは、わが国の結核対策を推めるのに大へん役立っていて、今後も多くの人材を送りたいとのことであった。研修を了えて帰国すると確実に地位が昇るが 2 年間の就任義務がある。NEDA が研修員の人選に当たっているが、時に当方の推薦を勝手に変更し、結核対策に関係のないものを送るので困る、ということであった。

○ 国立結核研究所（NIT）

クルス所長から研究所の組織と活動について詳細な説明があり、この研究所は 1977 年に設立され、6 つの部からなり、職員は 64 名である。このうち日本の研修コース修了者は現在 4 名であるが、傘下の地区コンサルタントに 5 名、同じ構内のケソン病院に 5 名いて、それぞれ中心的な存在となっている。

当研究所はとくに国内の研修活動に意を用い、現在 4 つのコースをもっている（地区コンサルタント、保健婦、鏡検手、開業医）、来年度からは 330,000 人を対象とする（3 年の予定）大規模な全国実態調査が行われる予定で、現在実施要領の作製を急いでいる。日本のとくに疫学者の参加を強く望んでいる。

○ フィリピン結核協会：会長、副会長に会い表敬と協会の活動状況、資金調達方法などを質問

2. タイ（帰国研修生 39 名）

訪問先は次の通り。

○ 総理府技術経済協力局（DTEC）

各コースに満足している。期間は現在の 4 ヶ月くらいが丁度よく（長いと地位の高い人は参

加できないため)選考は各部門からの推薦者を試験(とくに英語)によって行っているとのことであった。

○ 保健省結核対策部 (C.C.O. Yodse)

この部門には多数の帰国研修生が活躍している。即ち本部8名(医師6、技師1、看護婦1)、11の地方支部に16名(医師11、技師3、看護婦2)が現在中心となって働いている。結核対策の中心はWHOの方針に従い、全国免疫化運動の一環としてのBCG接種の拡大に置いている。また、喀痰検査に力を注ぎ、全支部の検査室により能率的な蛍光顕微鏡を配備しようとして、取扱技師の養成に努めている。

○ 国立中央胸部病院 (C.C.H. Nonburi)

主として外科と検査部門に計5名の帰国研修生がいる。最近結核以外の胸部疾患の割合が増し30%となっている。やはり肺癌が多い。禁煙運動にも強い関心をもっているが、タイの喫煙人口はふえる一方である。検査室は慢性的手不足で、仕事の幅は拡げられない(当病院の結核菌検査室はすべてわが国の専門家派遣によって開設されたもので、16年を経た今日まで着実に技術が継承され、高レベルの検査が日常的に行われている)。

3. インドネシア(帰国研修生54名)

訪問先は次の通りである。

○ WHO代表部

インドネシアにおいてもWHOの基本方針である全国免疫化運動に重点をおき、BCG接種の拡大に努めている。

○ パーサハバタン病院

院長室で長時間討論した。病院は現在600ベットで、うち呼吸器ベットは60で、近い将来に結核対策センターを附設する構想があるとのこと。(建物配置模型を示す。)この病院は10年以上前から日本の協力を得て来たが、援助が打切られて久しい。当時供与を受けた器材は老朽化し、補給のつかぬまま日常診療に支障を来している。このような現状からも器材供与を強く期待している。また対策センター構想についても、日本からの援助を望んでいる。ここには日本の研修を受けた者が9名(このほかに退職者9名)いて何れも各科の責任者として活躍している。所内視察に際して各部門から資材供与の具体的品名が多数訴えられ、熱意は異常なほどであった。この病院は、インドネシアにおける呼吸器疾患専門医の養成と認定を行っている唯一の機関となっている。

○ バツ市結核療養所(ルマサキバルバル):収容患者70名(100ベット)

日本の40年くらい前の状態である。

○ マラン結核センターおよび付属検査所

ここではDr.スシロ（検査部長）だけが帰国研修生である。検査部門は大へん貧弱で、培養件数も月数件程度のものである。センターは結核患者の外来診療を行なっているが、あまり見るべきものがなく、Dr.ハンドヨ（研究部長）の化学療法についての文献的知識を開かれたのみである。日本からの資材供与を望むとのことであった（とくに検査機材）。

(b) 各機関における技術指導

(1) フィリピン

国立結核研究所において、検査関係研修生並にWHO技術顧問ナグパウルに対し、来年度に予定されている全国実態調査にさいし、結核菌の検査が重要となると思われるが、現在予定されているWHO推薦の方法は繁雑に過ぎ、大量の処理には不適當である為、わが国で開発した簡便法（帰国研修生は修得している筈）を採用すべきであると勧告した。彼等は検討を約束した。

(2) タイ

保健者結核対策部において帰国研修生技師パイブーンと技術の問題点とくに蛍光顕微鏡法について質問を受け、かつ、業室内感染の問題を討議した。（最近日本では大きな問題となっているが、開発途上国では全く無関心である。）

国立中央胸部病院では帰国研修生検査部長シイブット医師が、とくに結核菌検査に関する技術的な質問を用意して、われわれの訪問を待ち受けていて、検査室の現場で親しく指導を行った。最新の文献も贈呈した。

(3) インドネシア

パーサハバタン病院抗酸菌検査部長の帰国研修生エルウィン医師から多くの技術的質問を受け、検査の現場で成績を批判し多くの改善勧告を行った。

マラン結核センターでは研究部長と長時間に亘り、化学療法について意見の交換を行い、帰国研修生のスシロ医師とスライ医師がこれに加った。また検査の現場でも直接に技術改善に示唆を与えた。

(c) 帰国研修生とのミーティングにおける意見の概要

(1) フィリピン

- ① 研修内容が最近大きく変わっているようであるが、その後のデータを定期的に送付してほしい。
- ② コース参加の研修生の選択の問題（研修生間で討論する時にポイントがあわない）。
- ③ 統計や数学の時間が多過ぎるのではないか。もっと実際的な対策プログラム作りや組織化

について討論したい。(上級コース)

- ④ 研修旅行で、地域保健対策の視察や評価のような実施手段を中心としてほしい。
- ⑤ 検査技術コースにもっと時間をとって動物接種やデータの集計、統計処理なども学びたい。
- ⑥ 研修に関連した機材を供与してほしい。

(2) タ イ

- ① このような(巡回指導)ミーティングを毎年やってほしい。
- ② 胸部外科のコースを再設してほしい。
(surgicalな面をコースの中にもっと入れてほしい)
- ③ 短期間の補充コースを設けてほしい。
- ④ Technical News を帰国研修生に提供してほしい。
- ⑤ 結核対策に関する世界的な傾向についての情報を提供してほしい。
- ⑥ 日本で開催される学会等に帰国研修生を参加させてほしい。
- ⑦ 関連機材を供与してほしい。

(3) インドネシア

- ① 研修コースの内容が、結核対策が中心であるのは、WHOの方針に従っている為と思うが、もっと基礎的な学問の進歩(例えば免疫学等)についても触れてほしい。
- ② 機械が古くなり新しい機械を供与してほしい(パーサハバタン病院)。
- ③ 結核対策のみならず臨床も含めたもっと広い範囲の研修にしてほしい。
- ④ 新しい情報がほしい。(医学文献も含め)
- ⑤ 専門家を派遣してほしい。

4. そ の 他

(1) アンケートに対する回答の結果

	フィリピン	タ イ	インドネシア
帰国研修生数	42	39	54
懇談会出席研修生数	21	13	15
アンケート回収数	18	25	10

(帰国研修生数は個別研修生も含む)

表(I)

巡 回 国		Philippines	Thailand	Indonesia
質問回収数 ()内数字は参加者数		18(21)	25(13)	10(15)
研修生の地位	Medical Technologist	1		
	Medical Technician	1		
	Medical Specialist(I)	3		
	" " (II)	1		
	Assit. Director	3		
	Surgeon	2	1	
	Physician	3	2	
	Pathologist	1	1	1
	TB Consultant	2		
	Director	1	6	1
	Lab. Supervisor		1	
	Medical Scientist		1	
	Lab. Technician		2	
	Medical Officer		8	
	Executive Director			1
	Chief of Nurses		1	
	Bacteriologist		1	1
	Epidemiologist			1
	Nurse		1	
Pulmonologist			4	
Director - General			1	

表(II) フィリピン

コ	ー	ス	名	対策コース	上級コース	技術者コース	個	別					
研 修 生 の													
所 属 機 関													
講 義 科 目	Good			6	6	4		1					
	More practice												
	No comment			1				1					
研 修 旅 行	Good			5	5	3							
	長 く			2									
	短 く												
	回数を増やす					1							
	回数を減らす												
	No comment												
研 修 期 間	Just right			6	3	1							
	Too short			1	2	3		1					
	Too long												
	No comment				1								
コ	ー	ス	で学ん	だ知識が役立	っているか	Yes							
						No	7	6	4		2		
						1							

表(Ⅲ) タイ

コース名		対策コース	上級コース	技術者コース	個別
研修生の 所属機関					
講義科目	Good	5	2	4	1
	More practices	3			
	No comment	5			
	長く	4			
研修旅行	Good	9	1	3	1
	長くしてほしい	2			
	短かくしてほしい				
	回数を増やす	1	1		1
	回数を減らす				
No comment	5		1		
研修期間	Just right	4	1	1	
	Too short	2		2	
	Too long	4			
	No comment	7	1	1	
コースで学んだ知識が役立っているか	Yes	17	2	4	3
	No				

表(Ⅳ) インドネシア

コース名		対策コース	上級コース	技術者コース	個別
研修生の 所属機関					
講義科目	Good		1		3
	More practices				
	No comment	2			
	長く				2
研修旅行	Good				1
	長くしてほしい				
	短かくしてほしい				
	回数を増やす		1		
	回数を減らす				
心要なし				2	
No comment	2			1	
研修期間	Just right		1		4
	Too short				2
	Too long				
	No comment	2			
コースで学んだ知識が役立っているか	Yes	1	1		7
	No				1
	Uncertain	1			
	No comment				

(2) 概 要

表(I)～表(Ⅳ)までは、今回の巡回指導に際してあらかじめ送付しておいたアンケートによる集計の結果を要約したものであるが、大部分の帰国研修生は、各々の質問事項に回答してくれたが少数の者は回答なし、あるいは回答に対して不明りょうであった。

このアンケート結果は、結核関係のコースが現在3コース(結核対策、結核対策上級、結核対策細菌技術指導者)に分かれている為、同じ人が2つのコースに参加しているということもあり、数字的にはアンケート回収数と回答数が一致していない。

この集計によれば、講義科目、研修旅行、研修期間等、各々、評価は異なっているようであるが、大部分が各研修コースで学んだ知識の各自の仕事への適用度については、各国とも、ほぼ同じで違いは認められない。

(3) 情報、フォローアップサービスについて

集計によれば、各国ともほぼ同様な回答であった。

- 1) 定期的に technical information (文献、パンフレット等)を送付してほしい。
- 2) 装置及び計器類等の供与をしてほしい。(microscopeが最も多い。sparepartsを含む)
- 3) 上級コースに参加したい。(過去に対策コース、上級コースに参加した人も再度参加したい。帰国研修生にプライオリティを付けて3～5年間隔で研修に来たい。)

(4) その他の要望事項

- 1) 日本で開催される国際学会、会合等に参加したい。
- 2) 外国(開発途上国)で経験のある外国人を講師としてコースに招いてほしい。
- 3) para-medicalの人のためのコースを新設してほしい。
- 4) VTRを使用して講義をしてほしい。

5 結 び

今回訪問した3国の帰国研修生数は結核対策関係研修生の半数を越えている。何れの国でも結核は未だに死因の第3位前後を占め、対策もその緒についたばかりで、これら多数の帰国研修生達は瞳を輝やかして、一心にこの分野に打込んでいることが感得された。そしてミーティングには予想を越える参加者を得、活発な意見が述べられた。3国の研修生達は口を揃えて、このような機会を毎年もって欲しいと述べていた。3国間でやゝ差を感じたのはフィリピン、タイでは機材供与については控え目な希望が出たのみであったが、インドネシアでは待ちかまえていたように多数の機材供与要請の攻撃にあった。これまでの協力の在り方の差違によるものであ

ろうが、われわれにとっては、国際協力というものを改めて考えてみる良い機会となった。

III 參考資料

PHILIPPINES

Dr. Fermin Manalo	Medical Specialist I <u>Quezon Institute</u> Philippine Tuberculosis Society Inc. Quezon City	1963 Control 1973 Advanced
Dr. (Mrs.) Remedios M. <u>Navarro</u>	Medical Specialist II Regional TB Consultant Regional Health Office No. 5 Iloilo City	1963 Control
Dr. Vidal Z. <u>Sy-Changco</u>	Medical Specialist I National Tuberculosis Chest Centre Regional Health Office No. 3 Manila	1963 Control 1973 Advanced
Dr. Mariano L. <u>Delfin</u>	Dead	1964 Control
Dr. Agripino R. <u>Oca</u>	Emigrated to U.S.A. (TB Medical Officer)	1965 Control
Dr. Edgardo S.L. <u>Jose</u>	Private Practitioner	1965 Control
Dr. (Mrs.) Viccenta Pita <u>de Gracia</u>	Medical Specialist I <u>Quezon Institute</u> Philippine Tuberculosis Society Inc. Quezon City	1965 Control 1973 Advanced
Dr. (Mrs.) Leonila S. <u>Santos</u>	Medical Specialist I TB Control Services Region I Regional TB Consultant Dagupan City, Pangasinan	1966 Control
Dr. (Miss) <u>Ferre Adoracion</u>	Dead	
Dr. William A. <u>San Pablo</u>	Philippine Tuberculosis Society Inc. Manila	1968 WHO
Dr. Salvador <u>Samson</u>	Jr. Staff Physician <u>Quezon Institute</u> Quezon City	1968 Control
Dr. Ramon <u>Hallare</u>	Staying in U.S.A. Last position Regional TB Consultant No. 5	1969 Control
Dr. (Mrs.) Catherine P. <u>Ranoa</u>	Medical Specialist I San Lazaro Hospital <u>Manila</u>	1970 Control
Dr. Tomas C. <u>Morales</u>	Senior Resident Physician <u>Quezon Institute</u> Quezon City	1970 Control 1975 Advanced
Dr. Santiago F. <u>Casin</u>	Senior Clinic Physician Training Officer Regional Health Office No. 4 (Project management) Naga City	1971 Control

PHILIPPINES (Cont'd)

Dr. Melecia E. <u>Uypanco</u>	Medical Specialist II (TB Consultant) Regional Health Office No. 11 Davao City Private Physician	1971 Control
Dr. Felisberto V. <u>Ambas</u>	Private Physician	1972 Control
Dr. Nilda <u>Brodit</u>	Medical Specialist I Chief NIT Regional Health Office No. 6 Iloilo City	1972 Control
Dr. Ernesto Erning <u>Maquiling</u>	Chief, Field Operation Department Philippines Tuberculosis Society, Inc. Quezon Institute Compound, Quezon City	1973 Control
Dr. Gregorio F. <u>Noriega</u>	National TB Chest Centre L.P. San Lazaro Hospital Chief of NTI Manila	1973 Control
Dr. Felicito F. <u>Aniceto</u>	Chief, Medical Division II Regional Health Office No. 7 Cebu City	1974 Control
Dr. Lolita O. <u>Cruz</u>	Medical Specialist, TB Control Services Regional Health Office No. 4 Quezon City	1974 Control
Dr. Jose <u>Lopez</u>	Assistant Director National Institute of Tuberculosis Quezon Institute Compound, Quezon City	1974 Control
Dr. Francisca M. <u>Garcia</u>	Director Cebu TB Pavilion, Cebu City, PTS	1975 Control
Dr. Aurora D. <u>Penas</u>	Chief, Camarines Sur Chest Centre Naga City	1975 Control
Dr. (Mrs.) Dulce Pineda <u>Baldrice</u>	Medical Specialist II (TB Consultant) Regional Health Office No. XI Davao City	1976 Control
Dr. Rafael C. <u>Lagahit</u>	Medical Specialist I Negros Oriental TB Pavilion Dumaguete City, Negros Oriental P.T.S.	1976 Control
Dr. Gil A. <u>Montano</u>	Medical Specialist I (Section Chief) Department of Pulmonary Diseases Veterans Memorial Hospital	1976 Control
Dr. Milagros <u>Balgos</u>	Regional TB Consultant Regional Health Office VI Iloilo City	1977 Control
Dr. Levi C. <u>Escasa</u>	Medical Officer, Operation Department Philippine Tuberculosis Society Inc. Quezon City	1977 Control
Dr. Felicidad Q. Rivera	Acting Tuberculosis Consultant Department of Health (Region IV-A), Manila	1978 Control

PHILIPPINES (Cont'd)

Dr. Andres Y. <u>Cruz</u>	Director, NIT Medical Specialist III, Phthisiologist in charge of National TB NIT Chest Centre, Clinic Director Manila	1975 Advanced
Dr. Lolita O. <u>Cruz</u>	Medical Specialist, TB Control Section, Health Bureau of Health Department of Health, Manila	1978 Advanced
Dr. Ernesto <u>Maquiling</u>	Chief, Administrative and Program Department, Field Operations Division Philippine TB Society, Inc.	1978 Advanced
Dr. Rosario S. <u>Evangelista</u>	Assistant Director for Research, National Institute of Tuberculosis, Quezon City	1979 Advanced
Dr. Violeta <u>del Mundo</u>	Junior Resident in Pathology Quezon Institute Quezon City	1975 Laboratory
Mr. Manuel M. <u>Regala</u>	Laboratory Technician RHO. No. 4 National Tuberculosis Centre Clinic San Lazaro Hospital Cpd., Manila	1976 Laboratory
Dr. (Mr.s) Nora <u>Cruz</u>	Medical Specialist I National Tuberculosis Centre Clinic Regional Health Office No. 4	1977 Laboratory
Mr. Arturo A. <u>Reyes</u>	Chief Medical Technologist National Institute of Tuberculosis Quezon City	1978 Laboratory
Dr. Domingo A. <u>Reyes</u>	Resident Surgeon Jose R. Reyes Memorial Hospital Manila	1968 Surgical
Dr. Melecio <u>Almeda</u>	Assistant Professor of Surgery College of Medicine University of Philippines	1968 Surgical
Dr. Ruben E. Valenzuela	Surgeon, Section of Cardiovascular & Thoracic Surgery, Dept. of Surgery Veterans Memorial Hospital Quezon City	1973 Surgical

THAILAND

Dr. (Mrs.) <u>Srinat</u>	Senior Medical Officer TB Control Division, Dept. of Health Ministry of Public Health Bangkok	1963 Control
Dr. <u>Thavisakdi</u> <u>Bamrungtrakul</u>	Medical Officer, Chief Training Section TB Division, Dept. of Communicable Disease Control Bangkok	1963 Control 1975 Advanced
Dr. (Mrs.) <u>Serae</u> <u>Padungchanthana</u>	Medical Officer of Central Chest Clinic Department of Health Ministry of Public Health Bangkok	1964 Control 1977 Advanced
Dr. <u>Bundit</u> <u>Chunhaswasdikul</u>	Director, 5th Zonal TB Control Head- quarters Ubolrajthanee Province	1965 Control
Dr. <u>Vallop</u> <u>Payanandana</u>	Korat Chest Clinic Korat	1966 Control
Dr. <u>Suanthai</u> <u>Barnyen</u>	Nakornsrihunjraj Chest Clinic Nakorn Srihunjraj	1967 Control
Dr. <u>Arporn</u> <u>Boonyakurkool</u>	Senior Medical Officer Central Chest Clinic, Yose	1968 Control
Dr. <u>Pairote</u> <u>Fuangtong</u>	Sakolnakorn Chest Clinic Sakolnakorn	1969 Control
Dr. (Mrs.) <u>Somsong</u> <u>Kupatawintu</u>	Director, Tuberculosis Control Zonal Centre, Chonburi	1970 Control
Dr. (Mrs.) <u>Kanistha</u> <u>Tharavanich</u>	Senior Medical Officer Provincial Health Office Yala Province	1970 Control
Dr. <u>Chalor</u> <u>Kupatawintu</u>	Director, Chonburi Chest Clinic Chonburi	1971 Control
Dr. <u>Saowaros</u> <u>Ruttarasarn</u>	Medical Officer Southern Regional TB Headquarters Yala	1971 Control
Dr. <u>Nipon</u> <u>Udomraty</u>	Medical Officer Tuberculosis Center Zone 2 Khon-Kaen Chest Clinic, Kohn Kaen	1972 Control
Dr. <u>Paskorn</u> <u>Rukskul</u>	Staff, Department of Medicine Police General Hospital Bangkok	1974 Control
Dr. <u>Nirach</u> <u>Hoondee</u>	Director, Pitsanulok Zonal Tuberculosis Centre, Pitsanulok Province	1974 Control
Dr. <u>Tanapan</u> <u>Kitpanpanit</u>	In charge of TB Control Programme TB Control Division Dept. of Communicable Disease Control Ministry of Public Health	1975 Control

THAILAND (Cont'd)

Dr. <u>Vuttirojana Vinai</u>	Doctor in Out-Patient Department Khon Kaen-Sakorn-Ubpl Chest Clinic Dept. of Communicable Diseases Ministry of Public Health	1976 Control
Dr. <u>Prakong Kecharananta</u>	Medical Officer Level 7, TB Division Communicable Diseases Control Ministry of Public Health	1977 Control
Dr. <u>Thawee tong</u> <u>Koanantakool</u>	Staff Physician, Division of Medicine Central Chest Hospital Ministry of Public Health	1977 Control
Dr. <u>Apichai Choosukde</u>	Physician, Nakornsawan Zonal TB Centre, TB Division, Dept. of Communicable Disease Control, Ministry of Public Health, Nakornsawan	1978 Control
Dr. <u>Suchart Daramas</u>	Epidemiologist, Bangkok Chest Clinic TB Division, Communicable Diseases Control Dept., Ministry of Public Health, Bangkok	1978 Advanced 1979 Control
Mr. <u>Paiboon Samutikiree</u>	Chief Laboratory Technician, in charge of the Central Laboratory for TB Tuberculosis Division, Dept. of Communicable Diseases Control, Ministry of Public Health	1975 Laboratory
Mr. <u>Supot Khunkwa</u>	Laboratory Technician Zonal Tuberculosis Centre 2 Khonkaen	1976 Laboratory
Mr. <u>Wirat Niraroot</u>	Chief Assistant Laboratory Technician Regional TB Control Centre Division of Tuberculosis, Dept. of Communicable Diseases Control 1 Ministry of Public Health	1977 Laboratory
Dr. <u>Chaiwat Siripong</u>	Haadyai Provincial Hospital, Ministry of Public Health, Songkla	1978 Laboratory
Mrs. <u>Urairat Hemnalai</u>	Chief Nurse in charge of Preventive Unit Central Chest Clinic	1970 Individual
Miss <u>Chanpen Tanakehas</u>	Nurse, Chiangmai Chest Clinic Chiangmai	1970 Individual
Miss <u>Supar Tanparnich</u>	Nurse, Korat Chest Clinic Korat	1970 Individual
Dr. <u>Sribusaya Wongwatana</u>	Chief of Bacteriology Section Central Chest Hospital Bangkok	1970 Individual
Dr. <u>Waith Areechon</u>	Chief, Department of Pathology Central Chest Hospital Nomburi	1965 Surgical

THAILAND (Cont'd)

Dr. Nathalang <u>Atirek</u>	Faculty of Chulalongkorn Medical School, Department of Survey Bangkok	1966 Surgical
Dr. Somboon Boonkasem	Assistant Surgeon in Thoracic Surgery Surgical Dept., Central Chest Hospital Dept. of Health, Ministry of Public Health	1967 Surgical
Dr. <u>Chatchawan</u> Hoontongkam	Central Chest Hospital Nonburi	1968 Surgical 1969 Individual
Dr. <u>Art</u> Arthornthurasook	Chief of Service in Surgery Nakornrajisima Hospital Ministry of Public Health Bangkok	1969 Surgical
Dr. <u>Thira</u> Limsila	Chest Surgeon and Instructor in Chest Surgery, Department of Surgery Faculty of Medicine, Siriraj Hospital Mahidol University	1970 Surgical
Dr. <u>Yooth</u> Bodharamik	Staff in General Surgery at Samutprakarn Provincial Hospital Dept. of Medical Service Ministry of Public Health	1970 Surgical
Dr. <u>Arak</u> Porapukkham	Surgeon, Surgical Department Central Chest Hospital Department of Health, Nonburi	1971 Surgical
Dr. <u>Pich</u> Pianluprasidh	Staff in General Surgery Phayao Provincial Hospital Ministry of Public Health	1972 Surgical
Dr. Tharunt <u>Pokato</u>	Staff in General Surgery Pathalung Provincial Hospital Pathalung	1973 Surgical

INDONESIA

Dr. H. <u>Kusnadi</u>	Executive Director PPTI Indonesian Anti TBC Ass. Djakarta	1963 Control
Dr. <u>Soeripto</u> Hadiyono	Physician, Tuberculosis Center Ministry of Health Jogjakarta	1964 Control
Dr. Anhar <u>Gani</u>	Department of Internal Medicine Medical Faculty, Univ. of Indonesia Jakarta	1965 Control
Dr. Achmad <u>Dachlan</u>	Department of Internal Medicine Medical Faculty, Univ. of Indonesia Jakarta	1965 Control

INDONESIA (Cont'd)

Dr. <u>H.O. Setiono Husodo</u> (<u>Hoo</u> <u>Ie Thiong</u>)	Retired	1966 Control
Dr. <u>G. Pradono</u> (<u>Lim Thian Soei</u>)	Persahabatan Hospital National Lung Center Jakarta	1966 Control
Dr. <u>Souw Tiauw Hoe</u>	Head of Tuberculosis Hospital Karangmangu	1966 Control
Dr. <u>Roeslan Djailani</u>	Director, Lavalette Hospital	1966 Control
Dr. <u>Muherman Harun</u> (<u>Gin Sioe Chew</u>)	Head of TB Centre in Pontianak West Kalimantan	1967 Control
Dr. <u>Soekadis Tjokrosedono</u>	TB Centre Jogjakarta	1967 Control
Dr. <u>Sulastomo</u>	Chief, TB Control Division Jakarta Municipal Health Services Jakarta	1967 Control 1973 Advanced
Dr. <u>Buchari Lapau</u>	Academic Staff/Lecturer Department of Epidemiology Faculty of Public Health University of Indonesia, Jakarta	1968 Control
Dr. <u>Han Sie Batuna</u>	TB Control Service for North Celebes Menado	1969 Control
Dr. <u>Sunarso Kartohatmodjo</u>	Head of Tuberculosis Eradication Service, Hulu Sungai Utara, Kalimantan Selatan	1969 Control
Dr. <u>Theodoor Bernard</u> <u>Waworuntu</u>	Assistant Director of TB Centre Bandung	1970 Control
Dr. <u>Raden Hadji Su'dan</u>	Director of TB Centre Jakarta	1970 Control
Dr. <u>Hajji Jayadi Cinda</u> (<u>Djajadi Tjinda</u>)	Asst. Director, TB Control of the Directorate General CDC Ministry of Health, Jakarta	1970 Control
Dr. <u>Anton Frederik</u> <u>Lokollo</u>	Head of Tuberculosis Subsection CDC Section, Makuku Health Service Ambon	1971 Control
Dr. <u>Hadiprajitno</u>	Doctor, Clinic of Pulmonary Diseases Jogjakarta	1971 Control
Dr. <u>Petrus Tjahjadi</u>	Head of the Tuberculosis Subsection CDC Section, West Irian Health Service West Irian	1971 Control
Dr. <u>Rasjid Piarah</u>	Med. Asst., Dept. of Respiratory Diseases Persahabatan Hospital Jakarta	1971 Control

INDONESIA (Cont'd)

Dr. Mangasa Victor Oloan <u>Sitompul</u>	Chief, TB Control North Sumatra Provincial Health Service Medan	1972 Control
Dr. Bernardi <u>Layarda</u>	TB Control Director, P4M Dinas Kesehatan Kalbar, Jalan Jend A Yani, Pontianak	1973 Control
Dr. Zainal <u>Rasyidin</u>	Chief of TB Control/Staff member of the Provincial Health Department West Sumatra	1974 Control
Dr. Burhanuddin <u>Jusuf</u>	Chief of TB Control Section Provincial Health Services Sumatra	1974 Control
Dr. Jahja <u>Wihardja</u>	TB Centre (Department of Health) Bandung	1974 Control
Dr. Sri Prihatini <u>Boestan</u>	Chief of TB Control Section Communicable Diseases Control Dept. Provincial Health Services in East Java	1975 Control
Dr. <u>Prajitno</u>	Provincial Chief of Disease with Direct Transmission, Dept. of Health	1976 Control
Dr. Masagus Zainal <u>Arifin</u>	Chief of TB Control Section Health Service of South Sumatra	1978 Control
Dr. <u>Soedarto</u> Sosroamidjojo	Director of Directorate for the Control of Direct Transmitted Diseases, Ministry of Health, Jakarta	1975 Advanced
Dr. Address Surgana <u>Gunardi</u>	Chief of Medical Officer, Sub Directorate for TB Control, C.D.C., Ministry of Health	1977 Advanced
Dr. Siregar <u>Mangasa</u>	Chief of Regional/Provincial Health Service, North Sumatra	1977 Advanced
Mr. Djapulung <u>Sinurat</u>	Staff of Biological Standardization, Biochemical Research Centre, The Institute of Health Research and Development, Jakarta	1975 Laboratory
Mr. Zainal Aرسال <u>Bahar</u>	Laboratory Technician, Biomedical Research Centre, Jakarta	1976 Laboratory
Mr. Ida Bagus Made <u>Lawa</u>	Laboratory Technician, Laboratory Health Services Denpasur, Bali	1977 Laboratory
Dr. Adi Wibowo <u>Susilo</u>	Head of the Laboratory, Department of T.B. Centre Malang	1978 Laboratory

INDONESIA (Cont'd)

Miss <u>Levi Wallera</u>	Head Nurse, Lung Surgery, Persahabatan Hospital, Jakarta	1969 Individual
Dr. <u>Gatot Karsono</u>	Surgeon, Central General Hospital of Bandung, Bandung	1969 Surgical 1970 Individual
Dr. <u>Wibowo Suryatenggara</u>	Head of the Pre. Post Op. Care Division, Persahabatan Hospital, Jakarta	1970 Individual 1978 Individual
Dr. <u>Husaeri Fachrurodji</u>	Persahabatan Hospital, Jakarta	1970 Individual
Dr. <u>Hadiarto Mangunnegoro</u>	Persahabatan Hospital, Jakarta	1970 Individual
Dr. <u>Anwar Jusuf</u>	Member of Indonesian Thoracic Team, In charge of Pathology, Persahabatan Hospital, Jakarta	1971 Individual
Dr. <u>Martine Rusli</u>	Head of Radiological Department Rumah Sakit Persahabatan, Jakarta	1971 Individual
Dr. <u>Peetosutan Erwin</u>	Member of Indonesian Thoracic Team, In charge of Bacteriology, Persahabatan Hospital, Jakarta	1971 Individual
Mr. <u>Johanis S. Thenu</u>	Roentgen Assistant, Health Department Ambon	1972 Individual
Dr. <u>Nirwan Arief</u>	Pulmonologist in charge of Endoscopic Section, Persahabatan Hospital, Jakarta	1974 Individual
Dr. <u>Muchtar Sumartabrata</u>	Sub-chief of Chest Centre in Jakarta and Chief of the Surgical Dept. of Chest Centre, Jakarta	1965 Surgical
Dr. <u>Saksana</u>	Rumah Sakit Persahabatan Jakarta	1966 Surgical
Dr. <u>Soerarso Hardjowasito</u>	Instructor and Senior Lecturer in General Surgery, and in Thoracic and Cardiovascular Surgery, Surgical Dept. of Medical Faculty and Central Hospital	1966 Surgical
Dr. <u>R. Koestedjo</u>	Central Hospital, Bandung	1968 Surgical
(Dr. <u>Gatot Karsono</u>	see 1970 Individual	1969 Surgical)
Dr. <u>Ismid D.I. Busroh</u>	Head of the Surgical Section, Rumah Sakit Persahabatan, Jakarta	1970 Surgical
Dr. <u>Kukuh Basuki Rachmad</u>	Lecturer in the Thoracic and Cardio- vascular Surgical Diseases, Medical Faculty, Univ. of Indonesia, Jakarta	1971 Surgical
Dr. <u>Warko Karnadihardja</u>	Head, Dept. of Thoracic Surgery "Dr. Hasan Sadikin Central General Hospital", Bandung	1972 Surgical

QUESTIONNAIRE (PERSONAL)

Please reply the following questions. (Please write in block letter or typewrite.)

1. General question

(1) course attended:

(2) your name: _____
(family name) (others)

(3) year of your attendance at the course:

(4) home address:

(5) present office and position

office:

position:

(Please write about your responsibility in detail.)

(6) address of your present office:

2. Question on the course you attended

(1) Could you frankly say whether the course(s) attended was beneficial to your work after returning home? If so, in what way?

(2) Do you have any proposal for the improvement of the course?

a) duration of the course:

b) lectures and practices:

c) field trip:

d) dormitory:

e) other comments:

3. Question on the follow-up service

(1) What kind of follow-up service do you request?

(e.g. receiving technical information, revisit to Japan for advanced courses, etc.)

(2) Others, if any.

4. Do you have any request to the Japan International Co-operation Agency (JICA) or the Research Institute of Tuberculosis, JATA, concerning the course?

yours signature: _____

JICA